

2021年8月18日
(午前11時現在)
美須賀海運株式会社

当社管理船 座礁事故の件 (第3報)

8月11日(水) 八戸港外において、当社がMI-DAS LINE S.A.社(洞雲汽船株式会社の関連会社、以下「船主」)から船舶管理を請け負っております木材チップ専用船 CRIMSON POLARIS(クリムゾン・ポラリス、以下「本船」)が座礁し、船体の分断、油の流出が発生した件について、引き続き油濁の防除作業および分断された船体の監視を関係当局と連携して対応にあっております。

1. 現時点(8月18日午前11時現在)では、本船から流出された油の量は特定されておられません。

海上浮流油に関しては、大型油回収船およびタグボートによる油処理剤の散布、オイルスキミングネット・油吸着材による浮流油の物理的回収措置を継続しております。

沿岸漂着油に関しては、沿岸調査の継続と合わせて、自走式ビーチクリーナーを導入して油性ごみの回収作業を進めております。

2. 船体の状況について

船尾部は船体が傾斜し、プロペラ及び舵等の船尾付近を残し、船橋部分が水面下となっておりますが、船首部に大きな変化はなく、位置の移動も認められておりません。

座礁後も悪天候が続いておりましたが、8月17日(火)天候が一時回復したため、ダイバーによる潜水調査を実施しました。今回の潜水調査では、船首部の後方破断面の隔壁に亀裂は認められませんでした。

引き続き船体の付近にタグボードを配置して、挙動を監視するとともに、船体の曳航や処置について、気象・海象を注視しつつ汚染防止を最優先に関係当局およびサルベージ会社と検討を進めております。

引き続き海面及び海岸での防除作業、水面下を含む船体の状況の調査及び各準備作業を進め、船体からの漏油の防止、本船位置の固定、並びに燃料油の抜取りを行ってまいります。

今後も海上保安庁および関係者と協力し、被害の最小化と早期の事態解決に向けて全力で取り組みます。

【本船要目】

船種 : 木材チップ専用船

全長・全幅 : 199.9メートル・32.2メートル

総トン数 : 39,910トン

乗組員 : 21名(中国人、フィリピン人)

船籍 : パナマ

船主 : MI-DAS LINE S.A.社 (洞雲汽船株式会社の関連会社)

竣工年 : 2008年

以上